

2020年
266号
7月16日(木)

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部
〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷2-13-49
(越労連内)
TEL・FAX 048-989-2472
E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp



第48シテイウォーク 傘は不要でした そして、市立病院、保健所で 面談も

7月1日(水)大雨の天気予報でしたが朝はまだ曇、南越谷を9時予定通り出発。朝集まったのは残念ながら吉田(健)、五十嵐、足立の3人。コロナ以来、支部の久しぶりの行事です。真夏のカンカンですが、まだ雨は降ってこず夏歩くにはちょうどいい天気でした。

葛西用水散歩道を歩き、しらこぼと赤水門広場に10時着。そこでしらこぼと橋附近にお住まいの飛山夫妻が合流しました。シテイウォークも市内コースであれば、途中からの参加、自分の家の近くで参加したり抜けるというやり方もありかなと思います。

雨が降り始める前に記念写真と、元荒川の中土手を通り久伊豆神社へ。雨が降り始めましたが、ちょうど久伊豆神社の参道なので傘は不要。「家族とコロナ対策を念じ」島忠へ。トイレ休憩の後、花田苑に。雨がちよつと降ってきたので東屋で昼食。少人数なので三密対策は必要ない。思い切り飲んで食べた後、記念撮影も。花田苑の池には小ぶりの蓮の葉がところどころに集まり、そこに赤い花が咲いていてとても風情がありました。

花田苑近くの五十嵐さん宅でドリンクの差入れと五十嵐さんの借りている市民農園で夏野菜のおみやげを頂く。

13時市立病院でコロナ対策について面談。引き続き保健所へ。

2カ所の担当者とは1時間以上面談しました(内容については2面のコロナ掲示板を参照)。足立さんはバスで南越谷駅へ。五十嵐さんは徒歩で自宅へ。そして私と飛山さんも徒歩で帰宅。15時30分自宅着。10km歩く。(吉田健治)

第16回口頭弁論 証人二人、個別立証6人で山場 次回10月28日に結審か?

7月8日(水)さいたま地裁で第16回口頭弁論が行われました。13時半から3時間におよび証人二人、個別立証6人が証言し今回の山場となりました。コロナの最中ですが、久しぶりの県本部の行動に1支部あたり2名が傍聴に駆け付けました。越谷支部からは五十嵐書記長と高木書記次長が参加しました。

次回10月28日(火)で、これで結審、年内には判決がでるのではとの事です。(五十嵐)

暑気払い&誕生会

日時 8月25日(火) 12時
場所 南越谷グラウンド
会費 千円

点晴

新型コロナウイルスから 生活を守ろう!!

◆前月号に続いて「新型コロナウイルス」を一緒に考えましょう◆7月14日までに感染者数は世界で1千3百万人超、死者は56万人を超えました(米ジョンズ・ホプキンズ大の集計)。統計してない国もあり、実態はもっと多いと想像されます◆国内では感染者数が2万2千人、死者は1千人に迫っています(7月12日現在)

◆世に言われているように「三密」(密閉空間・密集場所・密接場面)を避け、手洗い・マスク・人混みには近づかないことなどに注意しながら毎日を送ることが一番の対策と言われています◆しかし「三密を避ける」生活は可能でしょうか? 社会生活には向かない、というか人間社会を否定しきれない、そんな気持ちにさせる「三密」です◆見方を変えれば、コロナウイルスという「化け物」に人間社会が弄ばれ、苛められているようにも見えます◆世界史で病気との戦いを振り返ってみると、紀元前からのマラリア、2、3世紀からくり返された天然痘・ハンセン病・ペストなど幾つかの経験、今世紀に入ってからSARS・MERS・Sなどもあります。これらは人間の知恵と力で乗り越えてきた、あるいは一定の押さえ込みに成功してきたと思います◆今、各界の研究者が対策を研究中ですが、それでも新型コロナウイルスの影響を払拭するには、1年とか2年とか、一定期間が必要のように思います◆世界中の研究者が新型コロナウイルスの治療薬開発に全力を挙げていますが、報道には注意が必要だと思います。つい最近もトランプ大統領も使っていた「コロナ対策薬」の使用を中止したとの報道もありました◆コロナウイルスという「化け物」に人間社会が苛められていると見るのは私だけでしょうか? そういう歴史の中でも人間の活動が一定の成果を上げてきたのも事実だと思います。そこに期待し、私たちも出来ることで協力し、頑張らしましょう。(山本)

一堂に会しての支部第28回定期総会は中止のご案内をすでにしております。今回の配布物で議案書と次期役員の一覧表をお配りします。議案書に意見や質問のある方は組合までお申し出ください。執行委員会で検討して活動に反映させます。